こども・若者（ヤングケアラー）の意見を聴く取組

資料５

■次期計画策定に向けた基本的な考え方

・策定段階毎にこども・若者からの意見を聴き、北海道こども施策審議会における調査審議や議会議論などを踏まえて策定。

○ R6 こどもの意見反映推進事業により、10の行政分野について、小学生、中学生、高校生から幅広く意見を把握

○ ヤングケアラーについては、個別に意見聴取を行い、次世代成育支援部会において調査審議した上で北海道こども施策審議会に報告。

■こども・若者の意見の政策反映に向けたガイドライン【こども家庭庁】

ページ	内　容
P33	意見を伝えやすい手法について、対面・オンライン・LINE等チャット・Webアンケートに答える等の回答割合は、年代が高いほど大きくなる傾向。メール・アンケート（紙）等の割合は、年代が低いほど大きくなる傾向。
P51	学校、地域、生活の場等を通じて情報や参画機会を得るのが難しい。自分がヤングケアラーだと自認していないことが多いため、ヤングケアラーの立場で意見を言いたいという人にアプローチすることが難しい。
P61	**支援者（当事者団体や当事者の居場所、施設等）にどのようなこども等に話を聴けそうか、相談することが良い。支援者等を通じて意見聴取の目的に合致したこども等に声をかけてもらう**等の準備を丁寧に行うことが大切。

こども・若者（ヤングケアラー）の意見を聴く取組

資料５

インターネットフォームからのWebアンケート形式及び紙媒体によるアンケート形式により、ヤングケアラーから意見を聴くこととし、**北海道ヤングケアラー相談サポートセンターやヤングケアラーコーディネーターなど支援者団体等を通じて、当事者にアプローチ**する。

※支援者が普段から関わっているヤングケアラーにアンケートへの協力を依頼。
※可能であればヒアリングを実施し（高校生以上）、より具体的な話を伺う。

■今後のスケジュール

内　容	時　期
支援者団体等に協力依頼	８／９～
支援者によるヤングケアラーへのアンケート実施・回収	～９月上旬
Webアンケート入力〆	９／１３
アンケート集計・ヒアリングの実施・計画素案の作成	９／１７～
次世代成育支援部会への報告 ※結果を北海道こども施策審議会へ報告	１０月中